



第1回校内全体授業研究会

6月24日(月)、福島県教育庁義務教育課指導主事の柳田憲子先生を指導助言者として招聘し、「第1回校内全体授業研究会」を行いました。柳田先生は算数科教育に関する造詣が深く、県内各地の小学校で指導を行っている先生です。本校では、昨年度の研究授業で2回ご指導をいただきました。今年度は、5月31日に行った本研究授業の事前研究会にもお越しいたご指導をいただいています。

研究授業を行ったのは4年3組です。クラスの児童数(25名)よりも多い全職員が参観する中で、子ども達は少し緊張しながらも180°より大きい角の測り方を真剣に考えました。そして、見つけた方法を発表し合ったり、多様な考え方を比較して共通点や違い、よさなどについて話し合ったりしました。



授業後には参観した全職員で事後研究会を行い、グループに分かれて成果と課題を洗い出し、その共有を図りました。最後に、柳田先生からご指導をいただき、算数科指導についての研修を深めることができました。



この他にも1学期中には、低・中・高学年のブロックに分かれた研究授業を5つの学級で行ってきました。

今後、9月には元筑波大学附属小学校副校長・現明星大学客員教授兼明星小学校校長の細水保宏先生を、11月には再度福島県教育庁義務教育課指導主事の先生を講師に招聘して算数科の全体授業研究会を行います。また、県南教育事務所や西郷村教育委員会から講師の先生をお招きして、全員がブロックごとの研究授業を行います。

子ども達の学力向上に向けて、本校職員も真剣に学びを深めています。

「西郷村総合美術展」鑑賞

6月28日(金)、学校運営協議会主催事業の一つとして、5、6年生が「西郷村総合美術展」の鑑賞を行いました。

参観の前には、学校運営協議会長様からごあいさつをいただくとともに、総合美術展実行委員長様から展示されている作品についての紹介をしていただきました。また、一緒に鑑賞していただく学校運営協議会委員の皆様、この事業にご協力をいただいた生涯学習課長様の紹介も行いました。



その後、村文化センター大ホールに設けられた美術展会場に入り、気に入った作品を見つけて感動の声をあげたり、実行委員長様からの説明を聞いたりしながら、鑑賞活動を楽しみました。



学校に帰ってきた子ども達からは、「すごく上手な作品をたくさん見ることができてうれしかった。」「もっと長い時間鑑賞していたかった。」などの感想が聞かれ、大変充実した時間となったようです。これを機に、地域の行事や催し物に積極的に参加しようとする気持ちが高まることを願っています。

創立150周年記念式典に向けて

本校は、令和7年11月27日に学校創立150周年を迎えます。その記念式典等を計画するために、第1回準備委員会を6月26日(水)に行いました。

協議では、この会の委員長に須藤正樹様、副委員長に関昌輝様、菊地竜也様、菊池奈穂様の3名を選出しました。また、事前に保護者の皆様に回答していただいたアンケート結果をもとに、記念式典後にコンサートを行うこと、航空写真を撮って記念品を作ることを決めました。

コンサートの内容や記念品の種類については、再度アンケート調査を行い、その結果をもとに9月17日(火)に行う第2回準備委員会で決定することとなりました。